

居間用換気扇〈強制排気・自然給気タイプ〉

形名

V-10X4

取付工事説明書

工事店さま用


取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。


取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。

- 配線工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は一般家庭の居間用です。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- 直接屋外に排気する場合、雨水浸入防止のためシステム部材（ウェザーカバーなど）を取付けてください。



安全のために必ず守ること


●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 **警告** 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの




 **注意** 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの


警告

 水ぬれ禁止	●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の原因。
 分解禁止	●改造や分解はしない 火災・感電・けがの原因。 修理は「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」にご相談ください。

 指示に従う	●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に換気扇を取付ける場合は、換気扇とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取付ける 漏電した場合、発火の原因。
	●交流 100V を使用する 直流や交流 200V を使用すると感電の原因。

注意

 禁止	●直接炎があたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない 火災の原因。
 浴室使用禁止	●浴室など湿気の多い場所には取付けない 感電および故障の原因。
 指示に従う	●電気工事は必ず電気工事店に依頼してください 感電の原因。

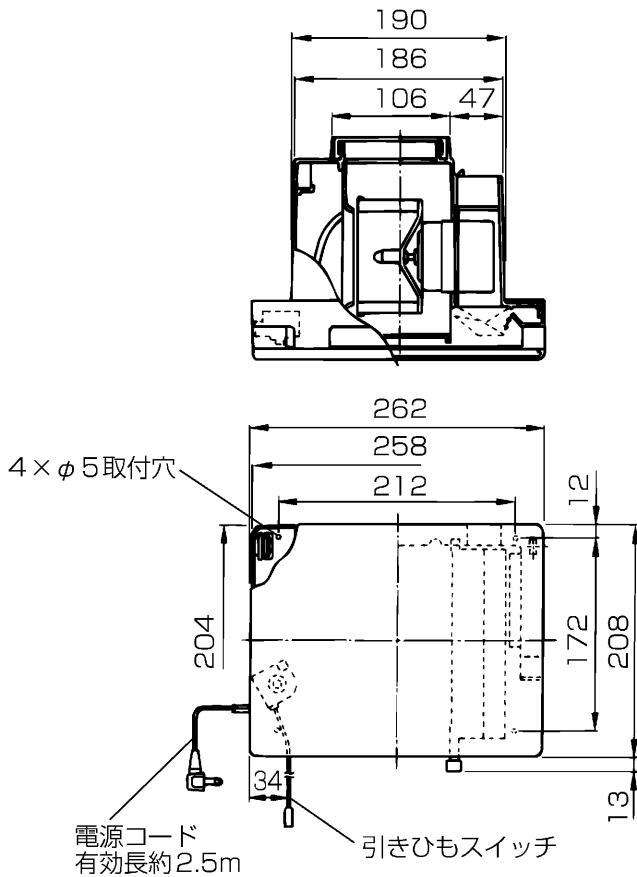
 指示に従う	●取付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。
	●部品の取付けは確実に 落下によるけがの原因。
	●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に 落下によるけがの原因。
	●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。

お願い

- 高温（40℃以上）になるところに取付けないでください。（故障の原因。）
- 火災警報器がある場合、感知部から 1.5m 以上離れたところに取付けてください。
- 燃焼ガスなどを吸込むおそれのある場所には取付けないでください。

- 壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- 次の場所での使用は寿命が短くなります。（温泉地、塩害地域、薬品工場、養鶏・養豚場のようなほこりや有害ガスの多い場所）
- 本製品は高所取付用です。必ず床面から 1800 mm 以上のメンテナンス可能な位置に取付けてください。

外形寸法図

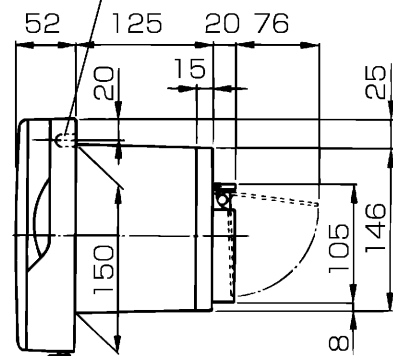


付属部品

木ネジ……………4本



電源コード前面取だし位置
(左・右可)



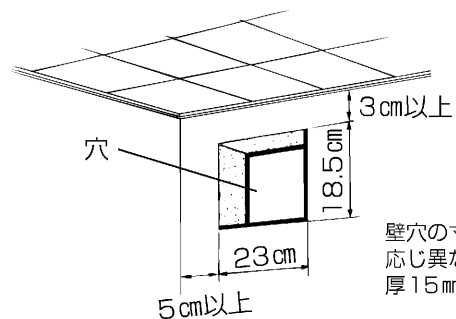
単位 (mm)

取付方法

取付穴の準備

1. 取付け場所を決めて壁穴をあける。

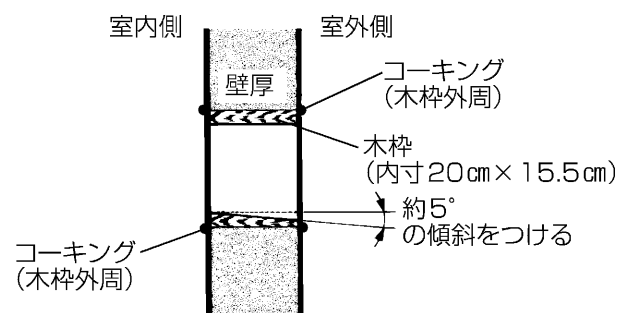
- 壁穴は天井や左右の壁から右図のように離してあけてください。グリルの取付けができません。



壁穴の寸法は木枠の厚さに
応じ異なりますが左図は板
厚15mmの場合を示します。

2. 板厚15mm以上の板で木枠を作る。

- 木枠の室外側下部に約5°の傾斜をつけて雨水の浸入を防ぎます。
- 木枠と壁のすき間はコーキング処理を施します。



取付方法 つづき

電気工事

⚠ 警告

- 交流100Vを使用する
直流や交流200Vを使用すると感電の原因。

⚠ 注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因。
- 電気工事は電気工事店に依頼する
感電の原因。

■ 電気設備技術基準や内線規程に基づくコンセントを屋内の換気扇の近くに設ける。

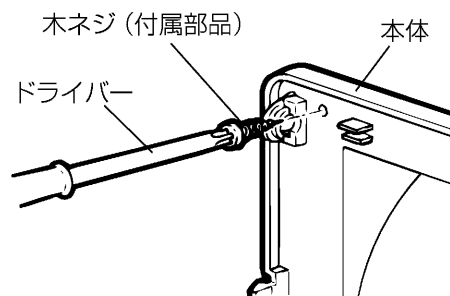
本体の取付け

1. パネルをはずし、本体の4か所の穴を利用して付属の木ネジ（4本）で固定する。

お願い

- 雨水、風などが当たりやすいところに取付けた場合は、雨水浸入防止のため木枠と本体のすき間をコーキングしてください。

2. 電源プラグを専用のコンセント（単相100V）に差し込む。



コンセントが本体上部、左右にある場合

1. 図のように電源コードはスイッチ左横側を通し、上に引き回す。
2. パネルの上部薄肉部をカッターナイフなどで切り取り、端面でコードが傷付かないよう処理をする。
 - コードの余りは本体外部にて調節してください。

